

第 8 回総合治水ワーキングチーム会議の協議結果

日 時 平成 17 年 10 月 25 日 (火) 17:00~21:00

場 所 宝塚市男女共同参画センター

出席者 (委員) 松本(誠)、奥西、川谷、武田、村岡、長峯、伊藤、岡田、加藤、  
酒井、佐々木、谷田、田村、土谷、中川  
(河川管理者) 田中、松本、渡邊、前川、西村、合田  
(県関係部局) 福田、鶴崎、橘、糟谷、田中、藤田  
(事務局) 前田、木本

内 容(協議結果)

1 流域対策の検討

- (1) 河川管理者から流域対策による流出抑制効果量の算定、流域対策の課題、河道対策の検討の説明を受け、協議した結果、次のことを確認した。  
今後、流域対策を検討するには、効果量の話と可能性の話に分けて協議する。  
ワーキングチームでは、河川管理者から説明のあった各対策施設の効果を目安とし、これにプラスアルファしたもの整理し検討していく。  
河川管理者から説明のあった「流域対策の課題」については、ワーキングチームとしての評価と課題をまとめた資料を作成する。  
この資料の叩き台は、中川委員が作成し、次回の会議で協議する。なお、各委員においても意見があれば提出する。  
河道対策の検討の協議は、次回の会議で行う。
- (2) 上流武庫川「自然を活かした川づくり」検討委員会で遊水地(案)が不採用になった理由を再確認する。
- (3) 公園の貯留については、田村委員が次回の会議に具体的な案を提出する。
- (4) 利水ダムの課題整理については、土谷委員が作成し「流域対策の課題」の表に組み込む。

(主な意見)

- ・ 各施設のオリフィスの構造を変えれば、ピークカットにもっと効果があるのではないか。
- ・ 基本方針レベルでは、考えられる流域対策の効果量を全量見込んだらよいのではないか。
- ・ 総合治水対策の問題点をクリアするには、どのようにすれば良いかを考えなければならない。
- ・ 県も全庁あげて総合治水対策に取り組むべきである。

2 今後の進め方

- (1) 次回会議の協議事項  
河道計画の検討(継続)  
遊水地  
各戸貯留、雨水浸透施設  
流域対策の課題(継続)
- (2) 次々回会議の協議事項  
利水ダム

3 今後の日程（開催日時）

次回（第9回）11月 2日（水）17:30～

次々回（第10回）11月 9日（水）17:30～